



イマジン
ロータリー

会報

留萌ロータリークラブ会長目標

ロータリーの未来
～ The Future of Rotary ～

2022 ▶ 2023 WEEKLY REPORT

会長 / 申橋 伸幸 幹事 / 青山 貴幸

プログラム

- 本日
「地区補助金報告会」
- 次週予定
「地区年次大会」

会員誕生日

福 土 幸 子
渡 部 英 次

結婚記念日

福 土 幸 子
渡 邊 裕 久

【第12回・第13回・第14回 合併号】
No. 2933 第12回 10月5日

出席報告

前
例
会

会員総数	26名
出免会員	4名
出免出席	4名
基準会員出席	19名
出席率	73.08%

例会 / 毎週水曜 12:15～13:15

会長報告

1. 会員皆様をお願いしていた会員選挙で住友生命留萌支部長の山形純弘さんが本クラブに入会することになりました。入会式は来週の例会にて執り行いますので、よろしく願いたします。

幹事報告

- 皆様に回している回覧にも文章掲載されておりますが、本日青森県の大雨災害義援金を集めさせていただきます。
- 10月2日3日に、エンド・ポリオ・サイクリング・チャレンジが行われます。これは前回にも回覧にてお知らせ致したのですが、国際ロータリー第2750地区の宮崎ガバナーエレクトが宗谷岬から鹿児島県まで、自転車で横

断することになっています。詳しいことが分かり次第、皆様にお知らせ致します。

- 10月24日のラジオで、午前と午後にポリオについて30分間ずつ流れることになっています。詳細につきましては、これも調べて皆様にFAXを流させていただきます。
- 滝川ロータリークラブより、活動計画書と10月例会プログラムが届いております。
- 砂川ロータリークラブより、10月例会プログラムが届いております。

委員会報告

奉仕プロジェクト委員会

燕 委員

10月1日の地区補助金事業、卓球「レッツ・ピンポン」当日お手伝いいただける方に資料を配付致しました。当日、始まる前に少し打ち合わせを致しますのでよろしくお願い致します。

当日はロータリージャンパー着用です。また、上履きが必要ですので、よろしくお願い致します。

ニクニクBOX

- 9月も皆様にはお世話になりました。ありがとうございます。本日は海東会員の卓話よろしくお願い致します。 串橋会長
- 本日はよろしくお願い致します。 青山幹事
- 本日は大変良い日でした。 武田エレクト
- 1日の事業よろしくお願い致します。

燕副会長

- 海東さん、よろしく申し上げます。 西原会員
- みなさん、お久しぶりです。 田中(美)会員
- やっと今日念願の「ミッチャン」に会うことが出来ました。よろしく申し上げます。

伊藤会員

- 海東さん、我が生い立ち楽しみにしています。

関野会員

前 回	324,000円
今 回	11,000円
累 計	335,000円

プログラム

会員卓話「我が生い立ち」

海東 剛哲会員

私は昭和40年に焼尻島で生まれました。両親は学校の先生をしており、父が学生運動をやりすぎた関係で30歳にてやっと旭川教育大学を卒業することが出来ました。初めて赴任したのが過疎の進むへき地手当のいっぱい出る焼尻で、何もすることが無かったのか、私が生まれたと言っていました。母は先に教員になっており、父が卒業する3年位前に極寒の地・網走にて私の兄を背負いながら教師をしておりました。焼尻には4年間住んでおりました。島の記憶はありませんが、診療所もなく産婆さんに取り上げてもらい、両親が共働きでしたので、この産婆さんに育てられたと、何となく記憶に残っております。

5歳の時に両親が転勤で羽幌築別の太陽炭鉱

に行きましたが、1年で閉山廃坑になって留萌に来ました。それが6歳の時です。最初は大和田の川の側の小林さんという所の2階を間借りして、おふくろが潮静小学校、おやじが増毛小学校に通いました。そのような環境で大和田保育園に通い、潮静小学校に通いました。潮静小学校の時は母が担任で、全校生徒70人程度の小さな学校でした。私の学年は10人程度で、1・2年と3・4年は複式学級でした。1・2年の時は母が担任で、学校で叱られ「お母さん」と泣きながら呼ぶと、「“先生”とお呼び」と怒られたものです。子供の頃はけっこう歪んで育ったのかなと思います。クラスは10名程度でしたので、自分は出来ると思いついでおりましたが、留萌中学校に通い始めて、10人のクラスから40人×6クラスの大規模校ですっかり自信を無くしてしまい、何をやっても中途半端、平々凡々の中学校生活を過ごしました。あまり良い学校生活ではなくて、成績も中の中位でした。留萌高校へ通った頃はビーバップハイスクールが流行っていた時で、イケてる男子はすごく短ランで、スリータックのボンタン履いてとか、学生服の内張りに龍の刺繍が入ったものを着たり、薄っぺらい黒い鞆を持ってケンカをしたりと、そんな時代でした。私は普通のズボンで学ランは少し短めのを着て学校に通っていました。普通の高校生で、クラブ活動はバスケットボールをやっていましたが、それほど上手くもなく普通の高校生活でした。親に「高校を卒業したらどうするんだ」と言われ、両親とも学校の先生なのに教育熱心ではなく、成績が中の中の下位でしたからどっか引かかる大学でもあるだろうと、父親に「大学行くからお金をくれ」と言ったら、「何処の大学を受けるんだ」と言われ、「神奈川大学を受ける」と言うと、「受かるのか」と言われ、「分からない」と答えると、「お前が勉強していないのは見て来て分かる。みんな一生懸命受験勉強しているのに、そんな受験を甘く見ている奴にお金なんて払えない」と言われ、お金をくれませんでした。結果、大学願書も出せず大学を一校も受けず、“この先どうしようか”と考え、別に反抗期ではありませんが、とにかく家にいたくありませんでしたので“東京に行ってみよう”と考え、これは2つ年上の兄

に影響されたのだと思いますが、このようなくだらない動機でした。うちの兄は、一年間新聞配達をして山梨学院大学に入学しました。これを受けて兄のやってきたことを私も周到したいと思っていたのだと思いますが、“自分も東京に行くんだ”と、「一年間自由にしてくれ」と親にお願いして、読売新聞の販売所に申し込みを致しました。当然、学生でないといけませんので、“別に勉強したい、大学へ行きたい”と言う気はありませんでしたが、取りあえず予備校に通うということで新宿セミナーに通いながら、霞が関販売所というとんでもない都会の中で、最寄りの駅は国会議事堂前、配達区域が赤坂、六本木と素晴らしい環境の中で、一年間暮らしました。部屋がこれまたとんでもなく狭く、2畳半で天井が低い穴蔵のような部屋で過ごしました。別に勉強がしたい訳ではなく、何をするのか分からなかったのですが、何を思ったか、「役者になりたい」と思い、自分は良い顔をしていると思い込み、「薬師丸ひろ子が好きで一緒に共演をしたい」というくだらない動機で役者を目指しました。どうしたら役者になれるかと考え、調べたら養成所という所があり、有名な劇団では、劇団四季などがありますが、私が目指したのは誰でも入りやすい、映画のプロデューサーを引退した人が立ち上げた、そんな人が養成所の会員を募集していますという新聞広告を見て、新聞配達中にそこに申し込んで、試験もなく、お金を払えば取りあえずは入れるというプロダクションでしたので、養成所として入って、アルバイトをしながら新聞配達で知り合った先輩と、留萌から一緒に東京に出た友人との3人で板橋区にシェアハウスとして2LKの所を借りて住みました。発声練習などをやりながら役者を目指しました。

役者としては約1年位でそのプロダクションの所属となり、たまに仕事をいただいております。エキストラに毛の生えたようなものですが、一応セリフがあって、例えば「世にも奇妙な物語 佐藤対鈴木」でどちらが多いかなど、もしかかっている方があったかもしれませんが、どっちが日本で勢力を伸ばしているかとか、といったストーリーで、鈴木派の鈴木ナンチャラでセリフは一言しかありませんでしたが、後

は「ゴリラ」という石原プロダクションの西部警察みたいなドラマですが、これでは5分位のセリフをもらえました。それと、「天と地と」という角川映画で武田信玄と上杉謙信のお話で、オールカナダロケでやるということで、日本から馬に乗れるやつを60名連れて行くということでしたので、馬に乗ったことが無いのに乗馬経験30時間以上の条件付きでしたが、嘘をついて参加しました。ちなみに東京で乗馬1時間1万円でしたので、30時間ですと30万円かかりますので、基本の基本を教わってテストに参加しました。このテストは1日中馬に乗ってジープに血がにじむくらい乗りまして、振り落としがあり、うまいことそれに残りまして、60人の中に残り、最終稽古として渡辺謙さんが主役でしたが、病気で沖田何とかというアイドルの方が主役になりましたが、その総稽古という時に足を折り、脱落した経験がございます。その時に馬に乗れるようになりまして、そのあとで大河ドラマの仕事をいただいて、その時の大河ドラマが「信長黄金の国」という緒方直人さんが主演の映画で、信長への伝令の役をいただきました。6回ほど出演する機会をいただきました。しかし、結局は私達はエキストラに毛が生えたくらいの役者でしたので、1つ仕事が入ると2週間位体を押しえられ、月に2つ位の仕事しか出来ませんでした。役者の給料は月に5万円～6万円位で、当然食べてはいけなくて、色々なアルバイトもしました。最初はコーヒエ館のチェーン店から始まって、ラーメン屋の出前持ちなどもしましたが、オックスというバンドの奥様が色々な事業をやっていてその奥様からスカウトされて、初め行ったのがホストクラブで、こんな世界はとんでもないということで、お好み焼きのお店に落ち着く事になりました。色々な事をやりましたが、行きついたのが警備会社でした。そこそこ給料が良くて、自分のスケジュールで仕事ができ、2週間位休んでもその後復帰できるという商売でしたので、けっこう長くこのアルバイトをやりました。そこで知りあった人に劇団に誘われて、大した有名ではないですが、由利徹さんのお弟子さんで、大衆演劇上がりの方が、劇団芝居屋がらっちょブラザーズという劇団を作り、そこで一緒にやって

第11回 9月28日(水) 天候/晴

みないかと誘われ楽しく参加させていただきました。100人位の小さな小屋で、年に3回位公演を打ち、1講演で7回位芝居をして、10人位の劇団でしたが、とても楽しく劇団生活をさせていただきました。人情喜劇でお客さんの反応も直に感じられてやりがいがあるので、テレビのプロダクションも辞めて、芝居屋がらっちょブラザーズ1本でやって行こうと思ったのが27歳から28歳位の歳でした。その時一緒にいたのが光浦靖子で、人力舎に入る前で、4~5公演一緒にやったのを覚えています。光浦靖子だけがドンドン売れて有名になっていきました。その頃、東京に役者は3万人いると言われ、劇団は3000あると言われていました。その中で1年間に1回以上公演をしている劇団が1000位あり、1回の講演で1000人位お客さんを呼べる劇団が100位あると言われていました。この100の劇団に入りたいということで頑張っていました。この100の劇団に入ると劇団の聖地みたいな所が下北沢にあるのですが、そこにもランクがあり、500人入る本田劇場、その下に200人の鈴なり劇場、150人の駅前劇場、何とか目指せ鈴なりと言うのが合言葉で、何とかその入り口にある駅前劇場に何とか立ちたいとの思いがありました。みんな駅前劇場のプロデューサーに招待券を送り、自分達の劇団をPRしていました。私達もそれを目標に頑張ったのですが、駅前劇場での公演が可能になった時、私達の劇団が空中分解してしまい、もう劇団はダメかなと思ってた時に高校の先輩で兄の友人の富田さんから「俺、留萌で警備会社をやろうと思っているんだけど、お前の父さん母さんに聞いたら警備の資格持っていると言われた」と言われ、田舎に帰る気は無かったのですが、目標を見失ったので、「1年間くらいなら手伝っても良いよ」とその誘いに乗って留萌に帰って来たのが29歳の時でした。会社はまだ立ち上げないで、初めは名寄の警備会社の留萌営業所としてスタートし、初めは4~5人の会社で、色々仕事をいただきながら会社を始めました。色々楽しくて、私自身警備会社は私の天職なのかとも思い、その後結婚もして子供も生まれ、富田さんも会社を立ち上げ順調にいらっしゃいました。営業所を作るからと稚内へ行ったり、富良野へ行ったり

と、人数も増えてきてやりがいを感じて、専務取締役という肩書もいただいて、鼻高々一生懸命旗振り会社の営業を頑張ってきたつもりです。稚内営業所を立ち上げた時、留萌から200kmも離れていましたので、わりかし好き勝手にやってみて、人が足りないから留萌から人呼んで、稚内で共同生活をしたり楽しく仕事をしていたのですが、何故かおかしくなってきたのが、富田さんから稚内の青年会議所へ入れと言われた頃からだと思います。留萌から7~8人が来て共同生活をしながら営業をしたり、「私が居なかったら誰が食事を作るの？」などと考え、自分勝手な機軸の中で、会社のことなどあまり考えずスパッと断ると、富田さんがへそを曲げてしまい、1年位口を聞いてくれませんでした。段々意固地になって、自分は間違っていない、とのことから留萌に戻され、「稚内は他のものに任せるから留萌に帰ってこい」と言われ留萌に帰って参りました。結局、私は留萌青年会議所にお世話になるのですが、それが37歳の時です。3年間お世話になりましたが、本当に入って良かったと思っています。1年間一生懸命頑張って、2年目には色々やらされて楽しかったのですが、38歳の時に何かやってられないという気持ちになりまして、会社でも富田さんとはあまりうまくいかず、結局会社を辞めるということになり、その時に離婚もしまして、2人子供もいましたが、自暴自棄になってどうでもよくなってしまったのです。その時父が「お前は頭がおかしくなったので病気に連れて行く」と旭川の日赤に連れて行かれたのを覚えています。日赤では見られないと断られ、近くの直江クリニックという精神科の病院へ行きましたが、診察の前にアンケートの問診があり、先生から典型的なうつ病と診断されました。今は大事なことを判断してはだめだと言われ、離婚も考え直し別居でも良いので何か良い方策を考えてと言われました。社長さんに説明をして会社を休みなさいと言われました。その時に私は「分かりました」と言って離婚をしたのですが、その時にまた東京へ帰ろうと考えての行動でした。別に芝居を諦めた訳ではないし、東京へ行ったら何だかんだ働いて養育費などの仕送りも出来るなど考えて、元の嫁に話したら「子供はあな

たに懐いているので私は良いよ」と訳の分からないことを言われ、私が引き取ることになりました。それで実家に帰ることにして、急場を凌ぎ、実家では増毛でポルクという喫茶店をしていましたので、そこに転がり込みました。その時、子供が年長と年少だったので何か考えなければと思っていたのですが、基本的に自暴自棄に陥っていたので、兄の言葉に乗って「お前が来てくれたから海の家でもやろう」と、夏場はそれで凌ぐことが出来ましたが、9月に入って海の家が終ると、また私の居場所がなくなってしまった感じで、本当にどうしようと考えて11月を迎えた頃、“留萌観光協会さんで人を探しているみたいだよ”ということで、これは青年会議所に入ったお陰で、会議所の仲間が色々と気にかけてくれて、一回話を聞いてみたらと言われ、その時對馬さんが副会長でしたが面接をしてくれて、その年の12月から働き始めました。時給735円の最低賃金、事務局が市役所にある頃で、「1月から来て下さい」と言われ、正式には平成17年1月から勤め始めました。本当に拾っていただけるだけありがたく、どんな状況でもとにかくやろうと考えていました。お勝手

屋萌の人達が、バイトの給料はこのままで良いのと言ってくれたこともあり、この頃から色々と変化がありました。平成19年にNPO法人で、観光施設の指定管理を考えている言われたのが平成21年頃でした。その頃、私が観光協会に関わった関係で、特にお勝手屋萌で働いているおばちゃん方には頭が上がらないものですから、今でも日曜日などは道の駅でレジ打ちをしています。観光協会で色々な方と出会い、人付き合いが広くなり、その出会いでおかしなことになり始めたのが、串橋会長と西谷会員が観光協会に来てからです。市役所の職員が連れてきたのですが、平成18年か19年頃だと思いますが、西分庁舎に観光協会の事務局があった時、この二人が来て「何か面白いことをしようよ」ということで吞涛まつりの前夜祭に関わり、その後まちおこしにも関り、色々な方に助けられて今の私があります。今回留萌ロータリークラブに入会させて頂き、人との出会いが広がりましたので、何でもイエスマンとして出来ないことでも何か方法はないかを考え、皆様のお役に立てればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

プログラム

- 本日
「地区年次大会」
- 次週予定
「地区大会報告」

【第12回・第13回・第14回 合併号】
No. 2934 第13回 10月15日

出席報告

前例会

会員総数……………27名
出免会員……………4名
出免出席……………4名
基準会員出席……………21名
出席率……………77.77%

例会／毎週水曜 12:15～13:15

会長報告 ……………

1. 10月15日・16日に札幌市にて、地区大会が開催されます。私と青山幹事、福士委員長、武田エレクト、燕副会長にて出席して参ります。例会が次週より2週休会となります。間違えないようお願い致します。

2. 10月1日開催のレッツピンポン、大変ご苦勞様でした。たくさんの皆様に参加いただき、盛大に終了したことに感謝申し上げます。

幹事報告 ……………

● 羽幌、芦別ロータリークラブより、10月例会

第12回10月5日(水) 天候/曇

プログラムを受領しました。

- 芦別ロータリークラブより、8月～9月の会報を受領しました。
- 砂川ロータリークラブより、7月～8月の会報を受領しました。
- 青森の大雨災害義援金、20,000円を送金させていただきます。
- 10月15日地区大会が開催されますが、前日14日に札幌市にて留萌ナイトを開催いたします。まだ出られる方がおりましたら、私幹事までご連絡ください。
- 皆様に既に回覧をしていますが、エンド・ポリオ・サイクリング・チャレンジということで、宗谷岬から鹿児島までの道のりをサイクリングで走破する取り組みを東京三鷹の宮崎ガバナーエレクトが長い期間をかけて行いました。その時の写真とバナー等が届いております。
- 本日、夜に山形会員の歓迎会が湯どうふ会にて開催されます。多数の会員の出席をお願いします。
- 10月24日、エンド・ポリオのラジオ放送がございます。忠津ガバナー補佐と串橋会長のお話の収録ですが、午前・午後と同じ内容で放送されます。皆さんお聞きください。

委員会報告

奉仕プロジェクト委員会 **福士委員長**

10月1日、「みんなでレッツピンポン」を皆様のご協力が無事終了することが出来ました。留萌卓球協会の桜井さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。また、先ほど会長報告にもありましたが、10月11日はロータリー財団、米山記念奨学会の月間です。寄付の願もしております。10月が最終例会の1回、11月は3回の例会で終わりですので、お早めに寄付をお願い致します。

次年度から **武田会長エレクト**

10月2日に札幌市において2023～2024年ロータリー財団地区補助金管理セミナーが開催され、西原会場監督と共に参加して参りました。その中で重要なことをお伝えいたします。次年度

の地区補助金の受付締め切りは本年度と同じく、23年年4月30日までとなっておりますので、お忘れないようお願い致します。



Niconico BOX

- 10月も皆様よろしくお願致します。山形会員、入会おめでとうございます。これからRCライブを一緒に楽しみましょう。
串橋会長
- 櫻井さん、本日はよろしくお願致します。
青山幹事
- 本日の例会が自分の担当と勘違いしていました。すみません。
武田会長エレクト
- 地区補助金事業へのご協力ありがとうございました。
燕副会長
- みんなでレッツピンポン、ご協力ありがとうございました。無事終了する事が出来ました。
福士奉仕プロジェクト委員長
- 90歳になりました。
渡部会員
- 櫻井さん、ようこそ留萌クラブへ。卓球事業お疲れ様でした。
関野会員
- 先日のレッツピンポンお疲れ様でした。心地よい筋肉痛です。山形さん、よろしくお願致します。
伊藤会員
- 主人の葬儀では大変お世話になりました。ありがとうございました。
中川夫人

前 回	335,000円
今 回	28,000円
累 計	<u>363,000円</u>



プログラム

「レッツピンポン報告会」 **燕副会長**
＝事業概要＝

目的：留萌ロータリークラブが地域における事業の効果や成長をより一層深めるため、街づくりの一環である卓球に着目し、卓球との出会いを作り、これから卓球を志す若者を発掘するような事業を目指す。「卓球の街留萌」を目指す傍ら、中学生以下の卓球に携わる子供たちが少なく、普及活動が出来ていないのが現状で、5歳から小学6年

WEEKLY REPORT

生ままでの子供たちを対象に初めて卓球に触れる機会を作り、卓球に慣れ親しんでもらえるような体験教室を開催し、卓球の楽しさを伝え、街が欲している卓球人口の増加に繋げられるような事業とする。この事業はロータリーが石を投げ、波及する活動に合致する事業になると確信する。

A 4 チラシ900枚、A 2 ポスター 8 枚作成。

配布先：市内各小学校、保育園、幼稚園。

チラシ833枚配布。

三省堂書店、コープさっぽろ、中央スーパー、四十坊。ポスター 8 枚

○卓球初体験歓迎、ラケットのプレゼント。

お菓子のプレゼント。

〈応募人数 47名〉 〈参加者 43名〉

櫻井匠先生と留萌に合宿で来ていた、札幌光星高校卓球部の皆さんの指導を受けた。



第13回 10月15日(土) 天候/曇

プログラム

●本日

「地区大会報告」

●次週予定

来賓卓話「留萌について」

JAL 宮永 泰樹氏

会員誕生日

桜 元 克 則

中 出 敏 彦

燕 美 雪

配偶者誕生日

大 嶋 裕 子

【第12回・第13回・第14回 合併号】

No. 2935 第14回 10月26日

出席報告

前例会

会員総数……………27名
出免会員……………4名
出免出席……………3名
基準会員出席……………18名
出席率……………69.23%

例会/毎週水曜 12:15~13:15

2022~2023年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会「ロータリーに想いを馳せる」 本会議 札幌プリンスホテル

10:00 点 鐘	ガバナー	石丸修太郎	15:30 質疑応答		
開会挨拶	大会実行委員長	島本 和明	15:45 休 憩		
国歌斉唱			16:00 表彰及び挨拶		
ロータリーソング「我らの生業」			クラブ会員表彰	ガバナー	石丸修太郎
10:10 物故者追悼			16:30 直前ガバナー記念品贈呈	ガバナー	石丸修太郎
歓迎の言葉	ホストクラブ会長	川村 忠	16:35 ガバナーエレクト紹介	ガバナー	石丸修太郎
10:20 来賓・役員の紹介	ガバナー	石丸修太郎	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	松浦 光紀
ガバナー挨拶	ガバナー	石丸修太郎	16:40 ガバナーノミニ紹介	ガバナー	石丸修太郎
10:30 来賓挨拶	鈴木知事・町田札幌副市長		ガバナーノミニ挨拶	ガバナーノミニ	出村知佳子
10:40 参加クラブ紹介			16:45 次期ホストクラブ挨拶	小樽南RC会長	山村 広一
11:50 R I 現況報告	ガバナー	石丸修太郎	16:50 お礼の言葉	ガバナー	石丸修太郎
12:10 休 憩・昼 食			閉会の言葉	大会副実行委員長	得能 宗洋
13:00 大会決議上程	大会決議委員長	福田 武男	点 鐘	ガバナー	石丸修太郎
大会決議案採択	ガバナー	石丸修太郎	17:00 諸事お知らせ	大会SAA	田中 昭次
前年度決算報告			【記念懇親会】		
前地区財団委員長	横岡 孝一		17:30 開会挨拶	ガバナー	石丸修太郎
前年度決算監査報告			来賓紹介	ガバナー	石丸修太郎
バストガバナー	福井 敬悟		ガバナー挨拶	ガバナー	石丸修太郎
大会登録委員会報告			乾 杯	ガバナーエレクト	松浦 光紀
大会登録委員長	大日向豊吉		祝 宴		
大会信任状委員会報告			手に手つないで		
大会信任状委員長	福井 敬悟		19:00 閉会挨拶	ガバナーノミニ	出村知佳子
大会選挙管理委員会報告			【留萌クラブ表彰者】		
大会選挙管理委員長	小山 司		燕 美雪 米山功労者(1回目)		
13:30 議事終了					
13:45 地区大会記念フォーラム					
「RYLAがもたらすロータリーの将来」					
RYLA委員会委員長	齋藤 朋博				
基調講演					
ロータリー財団管理委員	三木 明				
14:15 パネルディスカッション					
モデレーター	研修リーダー	嵯峨 義輝			
パネラー	2580地区ガバナー	嶋村 文男			
パネラー	RYLA委員会委員長	齋藤 朋博			
パネラー	RYLA委員会	佐藤 直輝			
パネラー	RYLA経験者	吉井 奏音			